



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 富士通フロンテック株式会社

コード番号 6945 URL <http://www.fujitsu.com/jp/frontech/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下島 文明

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 豊美 由喜夫

TEL 042-377-2544

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|---|--------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 24,240 | 14.2 | 195 | — | 323 | — | 153 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 21,232 | 4.4 | △963 | — | △1,080 | — | △735 | — |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 210百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △1,108百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 6.43 | 6.41 |
| 27年3月期第1四半期 | △30.72 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 68,125 | 38,276 | 55.9 | 1,588.30 |
| 27年3月期 | 72,671 | 38,285 | 52.4 | 1,589.43 |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 38,068百万円 27年3月期 38,065百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 57,100 | 17.0 | 1,500 | 251.3 | 1,300 | 125.6 | 900 | 162.2 | 37.57 |
| 通期 | 116,000 | 6.6 | 5,500 | 24.2 | 5,000 | 3.7 | 3,000 | 7.2 | 125.23 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期1Q | 24,015,162 株 | 27年3月期 | 24,015,162 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期1Q | 47,010 株 | 27年3月期 | 65,817 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期1Q | 23,955,610 株 | 27年3月期1Q | 23,944,008 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1)連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2)連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 5 |
| (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 5 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1)四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| 第1四半期連結累計期間 | 9 |
| (3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (5)重要な後発事象 | 11 |
| 5. 補足情報 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、国内においては景気の回復基調は続いており、海外においても欧州など一部地域に不安定さを残しながらも、全体としては緩やかな回復を見せております。

このような状況のもと、当社グループは国内外において金融ビジネスが好調に推移したことなどにより、連結売上高は24,240百万円（前年同期比14.2%増、3,007百万円の増）を計上いたしました。

損益につきましては、増収効果やコストダウンの推進などにより、金融ビジネスを主に全セグメントにおいて利益改善したことなどから、連結営業利益は195百万円（前年同期は963百万円の損失、1,159百万円の改善）と、黒字転換いたしました。連結経常利益につきましては為替差益を計上したことなどにより、323百万円（同1,080百万円の損失、1,404百万円の改善）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、153百万円（同735百万円の損失、889百万円の改善）となりました。

① 当第1四半期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

| | 2014年度 第1四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年6月30日〕 | | 2015年度 第1四半期連結累計期間 〔2015年4月1日～ 2015年6月30日〕 | | 前年同期比 | |
|----------------------|---|---------|---|-------|-------|------|
| | 売上高比(%) | 売上高比(%) | 増減率(%) | | | |
| 売上高 | 21,232 | 100.0 | 24,240 | 100.0 | 3,007 | 14.2 |
| 国内 | 14,670 | 69.1 | 17,361 | 71.6 | 2,691 | 18.3 |
| 海外 | 6,562 | 30.9 | 6,879 | 28.4 | 316 | 4.8 |
| 営業損益 | △963 | — | 195 | 0.8 | 1,159 | — |
| 経常損益 | △1,080 | — | 323 | 1.3 | 1,404 | — |
| 親会社株主に帰属する 四半期純損益 | △735 | — | 153 | 0.6 | 889 | — |

2015年度第1四半期累計期間の平均為替レート：121.37円/米ドル、19.57円/中国元
2014年度第1四半期累計期間の平均為替レート：102.16円/米ドル、16.40円/中国元

② セグメント別の概況

当第1四半期連結累計期間における各セグメント別の概況は以下のとおりです。

<金融ビジネス>

(単位：百万円)

| | 2014年度 | 2015年度 | 前年同期比 | |
|------|---------|---------|--------|------|
| | 第1四半期累計 | 第1四半期累計 | 増減率(%) | |
| 売上高 | 9,462 | 12,989 | 3,526 | 37.3 |
| 営業損益 | △298 | 703 | 1,001 | |

金融ビジネスにつきましては、国内ATMおよび営業店端末の更改需要に確実に対応したことに加え、海外向けメカコンポーネントが引き続き好調に推移したことなどにより、連結売上高は12,989百万円（前年同期比37.3%増、3,526百万円の増）を計上いたしました。

損益につきましては主に増収効果や開発部門と製造部門が一体となって製造効率の向上などに努めた結果、連結営業利益は703百万円と前年同期比では1,001百万円改善いたしました。

<流通ビジネス>

(単位：百万円)

| | 2014年度 | 2015年度 | 前年同期比 | |
|------|---------|---------|-------|--------|
| | 第1四半期累計 | 第1四半期累計 | | 増減率(%) |
| 売上高 | 3,332 | 2,955 | △377 | △11.3 |
| 営業損益 | △479 | △397 | 81 | |

流通ビジネスにつきましては、国内向けモバイル端末および北米においてSCOが増収となったものの、今年度から開始した海外POSビジネスの商流の見直しによる減収影響により、連結売上高は2,955百万円（前年同期比11.3%減、377百万円の減）となりました。

損益につきましては、減収となったものの構造改革や事業効率化の効果などにより、連結営業損失は397百万円と前年同期比では81百万円改善いたしました。

<産業・公共ビジネス>

(単位：百万円)

| | 2014年度 | 2015年度 | 前年同期比 | |
|------|---------|---------|-------|--------|
| | 第1四半期累計 | 第1四半期累計 | | 増減率(%) |
| 売上高 | 3,787 | 3,741 | △45 | △1.2 |
| 営業損益 | △147 | △72 | 74 | |

産業・公共ビジネスにつきましては、トータリゼータ関連の運用/保守ビジネスが堅調に推移いたしました。が、せりシステムの大口需要の一巡などにより、連結売上高は3,741百万円（前年同期比1.2%減、45百万円の減）となりました。

損益につきましては徹底したコストダウンなどにより、連結営業損失は72百万円と前年同期比では74百万円改善いたしました。

<サービスビジネス>

(単位：百万円)

| | 2014年度 | 2015年度 | 前年同期比 | |
|------|---------|---------|-------|--------|
| | 第1四半期累計 | 第1四半期累計 | | 増減率(%) |
| 売上高 | 4,361 | 4,280 | △81 | △1.9 |
| 営業損益 | 208 | 217 | 8 | |

サービスビジネスにつきましては、LCMサービスや流通店舗向けヘルプデスクなどが堅調に推移いたしました。が、一部スポットサービスの所要減などもあり、連結売上高は4,280百万円（前年同期比1.9%減、81百万円の減）となりました。

損益につきましては、売上高は減少いたしました。が、コストダウンの推進などにより連結営業利益は217百万円と前年同期並みで推移いたしました。

<その他>

その他ビジネスには、金型・切削加工事業や福利厚生事業などが含まれており、連結売上高273百万円（前年同期比5.0%減、14百万円の減）、連結営業利益58百万円となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

(単位：百万円)

| | 2014年度 連結会計年度末 (2015年3月31日) 金額 | 2015年度 第1四半期連結会計期間末 (2015年6月30日) 金額 | 増 減 | |
|--------|---|--|----------|--------|
| | | | 金額 | 増減率(%) |
| 資産合計 | 72,671 | 68,125 | △4,545 | △6.3 |
| 負債合計 | 34,385 | 29,849 | △4,536 | △13.2 |
| 純資産合計 | 38,285 | 38,276 | △9 | △0.0 |
| (借入金) | (1,443) | (-) | (△1,443) | |
| 自己資本比率 | 52.4% | 55.9% | 3.5 | |

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は68,125百万円と、前年度末から4,545百万円減少いたしました。前年度末に集中した売上に係る売掛金を回収したことなどにより減少いたしました。

負債合計は29,849百万円と、前年度末から4,536百万円減少いたしました。なお、前年度末にありました借入金については全額返済いたしました。

純資産合計は38,276百万円と、前年度末並みに推移いたしました。その結果、自己資本比率は55.9%と前年度末から3.5ポイント増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

| | 2014年度 第1四半期連結累計期間 (2014年4月1日～ 2014年6月30日) | 2015年度 第1四半期連結累計期間 (2015年4月1日～ 2015年6月30日) | 前年同期比 |
|-----------------------|---|---|--------|
| | | | |
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,201 | 5,667 | 465 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー | △690 | △823 | △133 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | △491 | △1,954 | △1,463 |
| IV. 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 10,218 | 11,054 | 836 |

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは前年度末の売掛金を回収したことにより、5,667百万円となりました。前年同期比では465百万円の収入増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは△823百万円と、前年同期比では133百万円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済により、△1,954百万円となりました。前年同期比では1,463百万円の支出増となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は11,054百万円となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間ならびに通期連結業績予想につきましては、平成27年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、
取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はございません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,195 | 3,624 |
| 預け金 | 2,945 | 7,460 |
| 受取手形及び売掛金 | 27,955 | 17,116 |
| 製品 | 5,096 | 7,735 |
| 仕掛品 | 5,934 | 5,883 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,838 | 4,598 |
| 繰延税金資産 | 1,229 | 1,125 |
| 未収入金 | 873 | 1,087 |
| その他 | 669 | 875 |
| 貸倒引当金 | △22 | △22 |
| 流動資産合計 | 53,715 | 49,483 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,560 | 2,519 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 199 | 234 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 6,481 | 6,305 |
| 土地 | 2,108 | 2,111 |
| 建設仮勘定 | 1,178 | 1,228 |
| 有形固定資産合計 | 12,528 | 12,399 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 686 | 646 |
| ソフトウェア | 2,520 | 2,382 |
| その他 | 208 | 207 |
| 無形固定資産合計 | 3,415 | 3,236 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 530 | 776 |
| 退職給付に係る資産 | 43 | 42 |
| 繰延税金資産 | 1,360 | 1,355 |
| デリバティブ債権 | 569 | 361 |
| その他 | 541 | 503 |
| 貸倒引当金 | △33 | △33 |
| 投資その他の資産合計 | 3,012 | 3,006 |
| 固定資産合計 | 18,956 | 18,642 |
| 資産合計 | 72,671 | 68,125 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 19,043 | 17,682 |
| 短期借入金 | 1,443 | - |
| リース債務 | 1,190 | 1,173 |
| 未払金 | 2,848 | 2,527 |
| 未払費用 | 2,496 | 1,494 |
| 未払法人税等 | 1,071 | 87 |
| 役員賞与引当金 | 39 | 2 |
| その他 | 662 | 1,580 |
| 流動負債合計 | 28,795 | 24,547 |
| 固定負債 | | |
| 長期未払費用 | 12 | 19 |
| リース債務 | 3,495 | 3,298 |
| 役員退職慰労引当金 | 38 | 31 |
| 退職給付に係る負債 | 1,891 | 1,799 |
| 資産除去債務 | 152 | 153 |
| 固定負債合計 | 5,590 | 5,302 |
| 負債合計 | 34,385 | 29,849 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,457 | 8,457 |
| 資本剰余金 | 8,222 | 8,222 |
| 利益剰余金 | 22,080 | 22,006 |
| 自己株式 | △82 | △59 |
| 株主資本合計 | 38,677 | 38,628 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 78 | 245 |
| 繰延ヘッジ損益 | △58 | △199 |
| 為替換算調整勘定 | 387 | 397 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,019 | △1,002 |
| その他の包括利益累計額合計 | △612 | △559 |
| 新株予約権 | 57 | 45 |
| 非支配株主持分 | 162 | 162 |
| 純資産合計 | 38,285 | 38,276 |
| 負債純資産合計 | 72,671 | 68,125 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 21,232 | 24,240 |
| 売上原価 | 18,250 | 19,806 |
| 売上総利益 | 2,981 | 4,433 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,945 | 4,237 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △963 | 195 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 8 |
| 受取配当金 | 2 | 3 |
| 為替差益 | - | 157 |
| 雑収入 | 21 | 10 |
| 営業外収益合計 | 32 | 179 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25 | 27 |
| 為替差損 | 92 | - |
| 固定資産廃棄損 | 0 | 0 |
| 出向者人件費負担額 | 21 | 12 |
| 雑支出 | 10 | 11 |
| 営業外費用合計 | 149 | 51 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △1,080 | 323 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △1,080 | 323 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 68 | 74 |
| 法人税等調整額 | △413 | 90 |
| 法人税等合計 | △345 | 165 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △735 | 158 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | 4 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △735 | 153 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △735 | 158 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 41 | 166 |
| 繰延ヘッジ損益 | △21 | △141 |
| 為替換算調整勘定 | △46 | 10 |
| 退職給付に係る調整額 | △347 | 16 |
| その他の包括利益合計 | △373 | 52 |
| 四半期包括利益 | △1,108 | 210 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,109 | 206 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | 4 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△) | △1,080 | 323 |
| 減価償却費 | 838 | 1,126 |
| のれん償却額 | 48 | 40 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 10 | △66 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 2 | △6 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △36 | △37 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △8 | △0 |
| 受取利息及び受取配当金 | △11 | △11 |
| 支払利息 | 25 | 27 |
| 為替差損益(△は益) | 4 | △52 |
| 固定資産売却益 | △0 | - |
| 固定資産廃棄損 | 1 | 0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 9,013 | 10,947 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,324 | △3,266 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △948 | △949 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,104 | △1,458 |
| その他 | 535 | 268 |
| 小計 | 5,968 | 6,886 |
| 利息及び配当金の受取額 | 11 | 12 |
| 利息の支払額 | △25 | △27 |
| 法人税等の支払額 | △752 | △1,203 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,201 | 5,667 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | - | △30 |
| 定期預金の払戻による収入 | 12 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | △644 | △633 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 190 | 98 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △257 | △297 |
| 貸付けによる支出 | △9 | △16 |
| 貸付金の回収による収入 | 7 | 16 |
| その他投資活動による支出 | △0 | △2 |
| その他投資活動による収入 | 13 | 41 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △690 | △823 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | - | △1,456 |
| 自己株式の処分による収入 | 0 | 0 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △215 | △215 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △3 | △3 |
| リース債務の返済による支出 | △272 | △278 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △491 | △1,954 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △23 | 24 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 3,997 | 2,913 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,221 | 8,140 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 10,218 | 11,054 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日) (単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-------------------|------------|------------|---------------|--------------|-------------|--------|-------------|-----------------------|
| | 金融 ビジネス | 流通 ビジネス | 産業・公共 ビジネス | サービス ビジネス | | | | |
| 売上高 | 12,989 | 2,955 | 3,741 | 4,280 | 273 | 24,240 | — | 24,240 |
| 営業利益又は 営業損失(△) | 703 | △397 | △72 | 217 | 58 | 508 | △312 | 195 |

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、金型・切削加工事業、従業員向け福利厚生事業等を含んでおります。

(注2) 営業利益又は営業損失の調整額△312百万円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△312百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究等の戦略費用及び親会社のグループ経営管理・サポート機能に係る費用等であります。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

平成28年3月期(連結)

(単位:百万円)

| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|------------------------------|-------------|-------------|---------------|-------------|
| | 27年4月~27年6月 | 27年7月~27年9月 | 27年10月~27年12月 | 28年1月~28年3月 |
| 売上高 | 24,240 | | | |
| 売上総利益 | 4,433 | | | |
| 営業利益又は損失(△) | 195 | | | |
| 経常利益又は損失(△) | 323 | | | |
| 税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△) | 323 | | | |
| 親会社株主に帰属する四半期 純利益又は純損失(△) | 153 | | | |
| 1株当たり四半期純利益 又は純損失(△) | 6円43銭 | | | |

| | | | | |
|------------------|-----------|--|--|--|
| 総資産 | 68,125 | | | |
| 純資産 | 38,276 | | | |
| 1株当たり純資産 | 1,588円30銭 | | | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,667 | | | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △823 | | | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,954 | | | |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 11,054 | | | |

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|------------------------------|-------------|-------------|---------------|-------------|
| | 26年4月~26年6月 | 26年7月~26年9月 | 26年10月~26年12月 | 27年1月~27年3月 |
| 売上高 | 21,232 | 27,590 | 24,511 | 35,533 |
| 売上総利益 | 2,981 | 5,432 | 5,102 | 7,400 |
| 営業利益又は損失(△) | △963 | 1,390 | 1,082 | 2,920 |
| 経常利益又は損失(△) | △1,080 | 1,657 | 1,458 | 2,788 |
| 税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△) | △1,080 | 1,657 | 1,245 | 2,511 |
| 親会社株主に帰属する四半期 純利益又は純損失(△) | △735 | 1,078 | 751 | 1,703 |
| 1株当たり四半期純利益 又は純損失(△) | △30円72銭 | 44円95銭 | 31円30銭 | 71円7銭 |

| | | | | |
|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総資産 | 61,800 | 65,190 | 65,379 | 72,671 |
| 純資産 | 34,471 | 35,815 | 36,660 | 38,285 |
| 1株当たり純資産 | 1,428円71銭 | 1,483円57銭 | 1,518円53銭 | 1,589円43銭 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,201 | △1,230 | 999 | 1,703 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △690 | △950 | △1,059 | △818 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △491 | △248 | △477 | △349 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 10,218 | 7,965 | 7,614 | 8,140 |